

第47期（2021年4月期） 決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

美しくを、変えていく。

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイデアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

業績ハイライト	1
セグメント別売上	2
セグメント別営業利益	3
売上構成	4
財務ハイライト	5
中期経営計画の達成を目指して	6
業績予想について	8
配当について	9
株主優待について	10

業績ハイライト

新型コロナウイルス感染症拡大は経済・社会活動に様々な影響を与えましたが、当社の場合、お客様の消費行動が実店舗での購入からECを中心とした通信販売にシフトしたことの恩恵を受け、直販部門、海外部門を中心に大きく売上を伸ばしました。

当社の高機能かつ多種多様な製品ラインナップがお客様の支持を得たことや、長年にわたって取り組んできた販売チャネルの多角化が奏功してリスク分散が図られたことなどから、売上・利益ともに過去最高となりました。

回次	第43期 2016年5月1日 ～ 2017年4月30日	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日	第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日
売上高（千円）	19,969,588	23,030,230	27,252,371	22,975,758	36,631,026
営業利益（千円）	3,503,274	5,385,662	5,705,084	2,504,326	6,116,800
営業利益率（%）	17.5	23.4	20.9	10.9	16.7
経常利益（千円）	3,533,869	5,345,643	5,715,275	2,310,752	6,104,957
親会社株主に帰属する 当期純利益（千円）	2,269,042	3,399,819	3,539,647	1,322,586	3,727,926
1株当たり当期純利益 （円）	39.79	59.62	62.65	23.66	67.75

（注）当社は、2017年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、第43期の期首に当該分割が行われたものと仮定して、1株当たりの数値を算定しております。

セグメント別売上

直販部門は当社直販サイトやモールを中心としたECによる販売が大きく売上を伸ばしたことから、海外部門は中国国内におけるT-mallなどのECによる販売が非常に好調に推移したことから、いずれも大きく売上を伸ばしました。

店販部門は免税店を中心とした海外顧客向けの販売がほとんど稼働できない状況でしたが、国内顧客向けの販売に注力した結果、売上を回復させております。

また、通販部門もテレビ通販を中心に堅調な売上となりました。

回次	第43期 2016年5月1日 ～ 2017年4月30日	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日	第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日
通販部門（千円）	4,662,885	3,816,292	3,383,094	4,418,156	4,948,139
店販部門（千円）	6,909,317	10,058,901	9,644,014	6,827,885	7,605,477
直販部門（千円）	5,759,948	5,572,722	5,914,429	5,844,244	12,059,489
海外部門（千円）	2,511,577	3,510,910	7,545,161	4,903,788	10,997,975
その他（千円）	125,859	71,405	765,671	981,682	1,019,944
合計（千円）	19,969,588	23,030,230	27,252,371	22,975,758	36,631,026

セグメント別営業利益

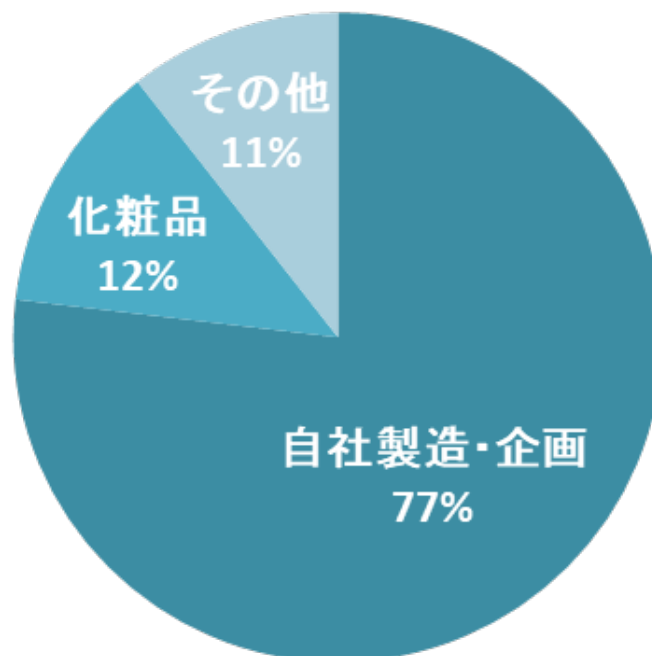
回次	第43期 2016年5月1日 ～ 2017年4月30日	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日	第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日
通販部門（千円）	1,967,743	1,514,283	1,407,829	1,678,352	1,997,879
店販部門（千円）	3,091,513	4,460,629	3,687,255	2,045,803	2,003,063
直販部門（千円）	1,588,001	2,068,770	2,740,345	2,131,251	5,982,630
海外部門（千円）	581,259	1,354,709	3,353,396	1,631,437	3,012,776
その他（千円）	43,439	16,272	△20,839	△141,994	△31,843
調整額（千円）	△3,768,682	△4,029,002	△5,462,902	△4,840,524	△6,847,705
合計（千円）	3,503,274	5,385,662	5,705,084	2,504,326	6,116,800

(注) セグメント利益の調整額は、主に各セグメントに帰属しない管理部門、開発部門等に係る販売費及び一般管理費です。

売上構成

当連結会計年度における売上構成は、自社開発製品及び自社企画製造委託品が77%、化粧品が12%、その他仕入品などが11%となりました。

自社開発・製造品では、YA-MAN TOKYO JAPANブランドのRF美顔器、光美容器、メディリフト、新製品のスチーマーが好調だったほか、MYSE（ミーゼ）ブランドも堅調な売上となりました。化粧品では、オンリーミネラルのほか、フローレスセラムなどの美顔器と併用できる化粧品や、3Dマイクロファイラーも売上を伸ばしました。



財務ハイライト

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化することを見据え、不測の事態に備えて運転資金に充当するため、2020年5月に銀行借入により25億円の資金調達を行った結果、現預金及び有利子負債が増加しております。

また、売上規模の拡大に伴い、売上債権、棚卸資産、仕入債務もそれぞれ増加しております。

回次	第43期 2017年4月30日	第44期 2018年4月30日	第45期 2019年4月30日	第46期 2020年4月30日	第47期 2021年4月30日
総資産（千円）	13,947,032	16,524,115	17,959,780	17,292,977	25,855,511
純資産（千円）	8,884,938	11,877,492	13,072,242	13,361,715	16,893,058
自己資本比率（%）	63.7	71.9	72.8	77.3	65.3
現預金（千円）	8,460,290	10,168,850	8,133,532	7,632,507	12,957,641
売上債権（千円）	2,347,827	2,580,729	3,394,343	3,022,126	4,000,909
棚卸資産（千円）	1,285,957	1,408,659	2,284,919	2,034,177	3,692,334
仕入債務（千円）	1,241,352	1,124,343	1,414,620	1,622,527	2,600,220
有利子負債（千円）	1,096,318	632,365	583,395	534,409	2,607,689

中期経営計画の達成を目指して

当社グループは、2020年11月に公表した中期経営計画に掲げる「売上高500億円・営業利益率20%」をマイルストーンとし、その達成のため、次の課題に重点的に取り組んでまいります。

① 研究開発活動の強化

コーポレートスローガンである「美しくを、変えていく。」のスピリットの下、常に独創的でオリジナリティに溢れる製品を創り続けていくために、研究開発の強化を経営上の最重要課題と位置づけ、美容の常識を変えていくような製品開発を行うとともに、効果効能の測定、安全性の検証、品質管理についても、更なる人員強化と体制整備を図ってまいります。

② 企業ブランディング

個々の製品やカテゴリとしてのブランドに留まらず、「ヤーマン」という企業ブランド自体の認知をグローバルに広げ、底上げを図っていくために、企業イメージ向上を意識した広告宣伝を充実させるほか、表情筋研究所、フェイスリフトジム、ライブコマースといった新しいサービスの提供、女性や外国籍の人材の活用、環境問題への取り組みなどを行ってまいります。

③ 美容機器と化粧品の融合型ビジネスの展開

当社グループでは、美容機器との併用により相乗効果が高まるような化粧品や、美容機器と化粧品が融合した製品の企画開発にも力を入れています。

化粧品の販売はリピート顧客の獲得が見込め、安定した売上の計上に繋がり、競合他社との差別化の観点からも有益であることから、これらの融合型事業の展開を強化してまいります。

業績予想について

新型コロナウイルスの感染拡大は国内外の経済に大きな影響を与えておりますが、当社グループでは、お客様の消費行動の変化をビジネスチャンスと捉え、顧客サービスの充実を図るとともに、新しい市場の創出と新しいニーズの発掘を行い、「日本発のグローバルブランドカンパニー、ヤーマン」の実現を目指してまいります。

第48期（2022年4月期）の連結業績予想につきましては、上半期では利益面で前年同四半期に及びませんが、売上のトップラインを伸ばしていくために研究開発や広告宣伝を中心に積極的な投資を行っていく計画であり、通期では売上・利益の両面で前連結会計年度を上回ると想定しております。

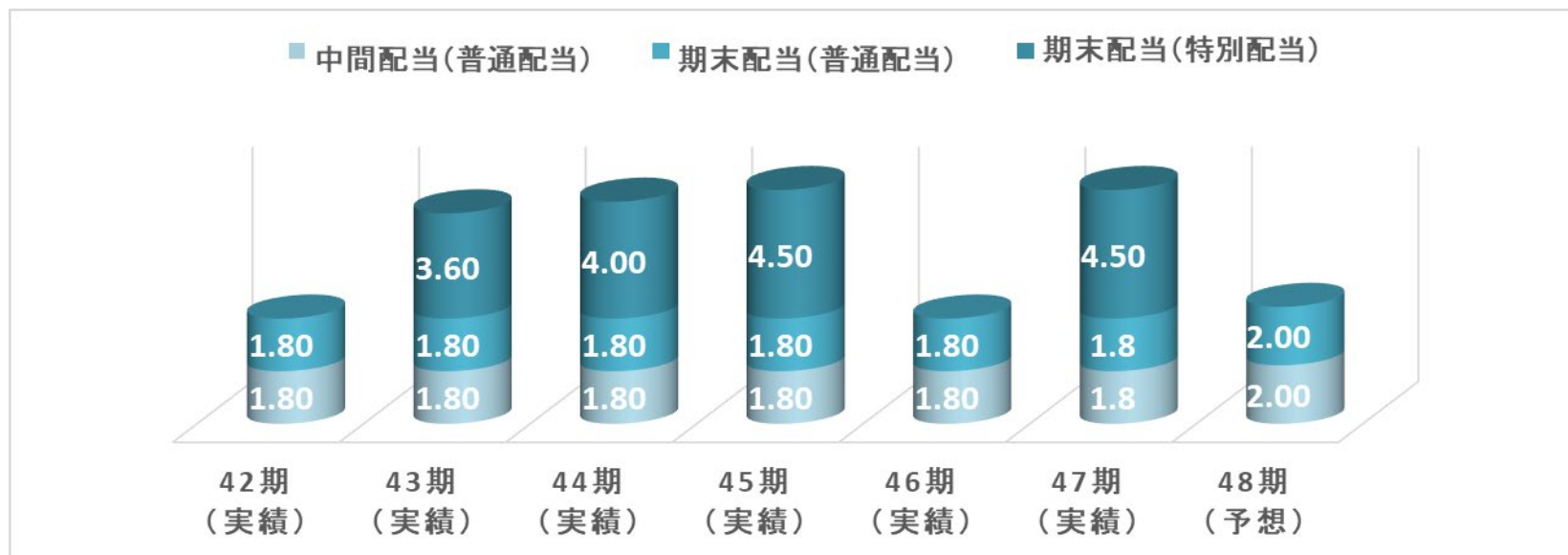
	上半期 (2021年5月～10月)		通 期 (2021年5月～2022年4月)	
	金額	対前年同期 増減率 (%)	金額	対前年同期 増減率 (%)
売上高 (千円)	20,299,658	8.4	40,000,878	9.2
営業利益 (千円)	3,024,998	△24.9	6,400,860	4.6
経常利益 (千円)	2,933,598	△25.7	6,218,561	1.9
親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	2,031,167	△13.7	4,306,112	15.5
1株当たり当期純利益 (円)	36.92	—	78.26	—

配当について

第47期（2021年4月期）の業績が過去最高の利益水準となったことから、株主の皆様への利益還元を促進するため、期末配当金を直近の配当予想である1株当たり1.80円から特別配当として4.50円増額し、6.30円に修正いたします。

なお、当社は、每期安定的、継続的な配当を基本方針とし、将来の売上拡大に繋げるための積極的な投資と、内部留保による財務基盤の強化を維持しつつ、期中の業績と配当性向を総合的に勘案して最終的な配当額を決定することとしております。

上記の観点から、第48期（2022年4月期）の配当予想は、1株当たり4.00円（うち、中間配当2.00円）とさせていただきます。



(注) 上記金額は、2017年11月1日付の株式分割の影響を加味したものです。

株主優待について

2021年4月期の株主優待は、2021年4月30日を基準日とし、保有株式数及び保有期間に応じて、当社直販Webサイト（ヤーマンオンラインストア）でご利用いただける株主優待割引券を進呈いたします。

なお、株主優待割引券は、定時株主総会終了後、定時株主総会決議ご通知等の期末関係書類に同封してお送りしますので、お手元に到着した際は必ず封入物をご確認ください。

当社は、株主の皆様にご愛用いただき、ご愛用いただくことで、当社のファンを増やし、引き続きご支援を賜りたいという趣旨で、株主優待制度を続けてまいりました。

今後も、株主の皆様のご意見を参考にしながら、制度の在り方を検討してまいりたいと考えております。

保有株式数	保有期間			
	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 5年未満	5年以上
100株以上 500株未満	5,000円	7,000円	10,000円	13,000円
500株以上	14,000円	17,000円	20,000円	23,000円

(注) 上記額面の株主優待割引券1枚を贈呈いたします。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。